

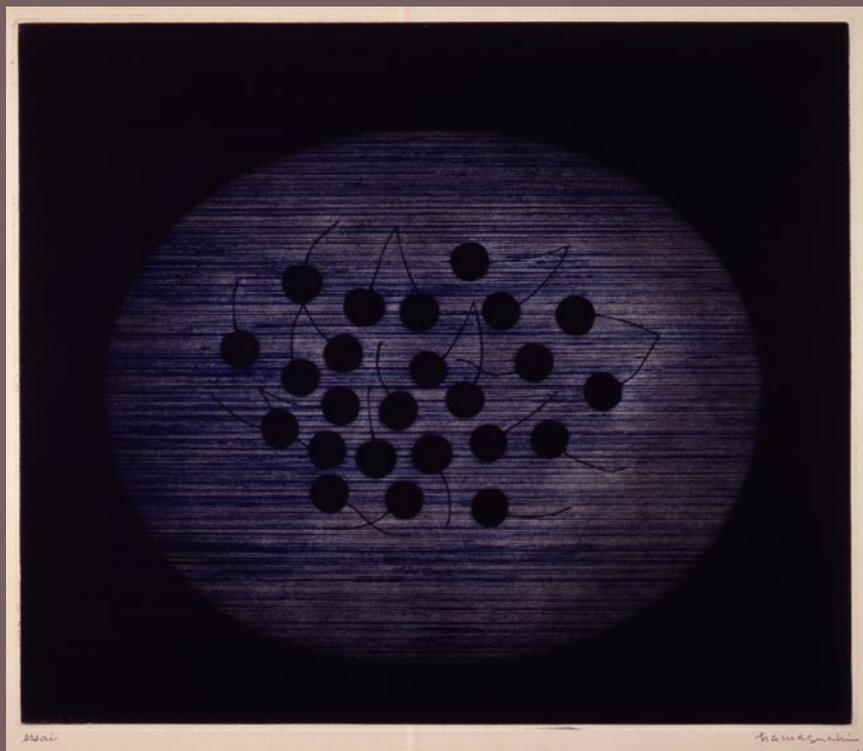
# Yozo Hamaguchi Exhibition

ミュージゼ浜口陽三・ヤマサコレクション



Musée  
Hamaguchi  
Yozo:  
Yamasa  
Collection

休館日\_月曜日(ただし9/20は開館し、翌9/21休館)  
入館料\_大人600円/大学・高校生400円/中学生以下無料  
開館時間\_11:00~17:00(土日祝10:00~/最終入館16:30)

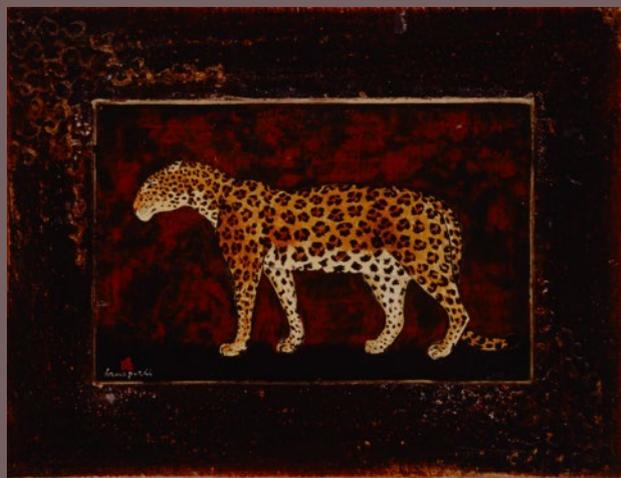


《黒いざくらんぼ》 1956年 カラーメゾチント(二色刷り) 29.3×34.3cm



《裸婦》 1930年代後半 油彩、板 10.0×14.0cm

2021  
9.11 sat → 12.22 wed



《豹》 1937-38年頃 グアッシュ、石膏板 7.9×9.5cm 個人蔵

手のひら  
ほどの  
小さな絵

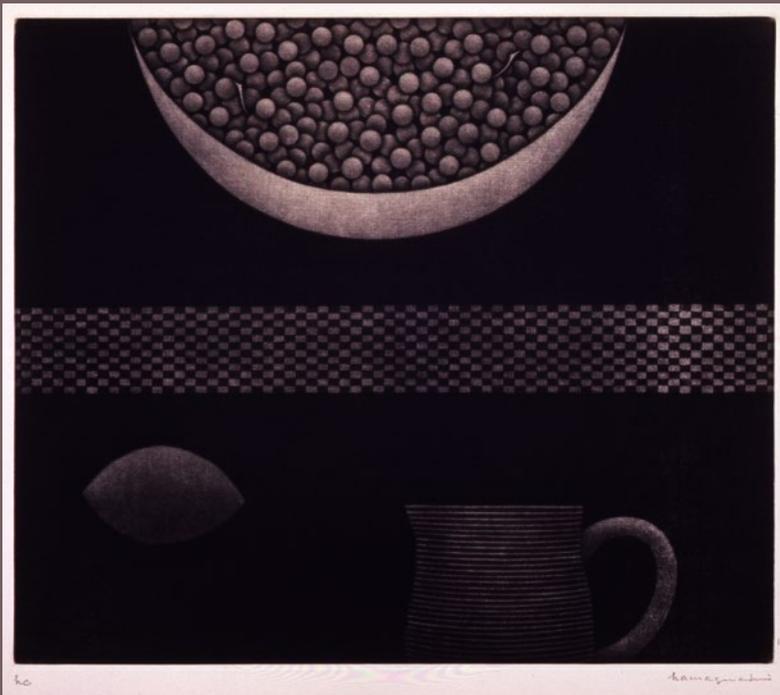
— パリ1930年代の浜口陽三 —

20世紀を代表する銅版画家・浜口陽三の、若きパリの時代を紹介する展覧会です。浜口は1930年に、東京美術学校の彫塑科を2年で中退し、フランスへ向かいました。一時はパリのサロンに油彩画を出品しますが、次第に大画面の油絵を描くことに興味を失い、小品や水彩画を制作したと言います。戦争によりやむなく帰国するまでの9年間の作品はほとんど失われてしまいました。しかし戦後、40歳を過ぎて完成させた神秘的な銅版画は、かつて国際芸術都市で育んだ理想の果実でもあったはず。本展では銅版画約30点と共に、パリ時代の小さなグアッシュ3点を特別展示するほか、作家のインタビューや資料によって当時を探ります。

※銅版画や油彩画約50点の構成で、銅版画の一部は展示替します。



浜口陽三(1936年頃)



《水差しとぶどうとレモン》 1957年 メソチント 29.4×34.4cm



《パトリックのさくらんぼ》 1980年  
カラーメソチント 7.6×7.6cm



浜口陽三「美しいエレエヌ」  
(油彩、1934年)の写真  
撮影：マルク・ポー



《裸婦》 1937-38年頃 グアッシュ、石膏板  
8.0×9.5cm 個人蔵

## Event

### 毛糸でつくる小さな財布

毛糸や編み棒は、浜口作品にたびたびあらわれます。作品からイメージした色の毛糸を使って、手のひらサイズのお財布を制作します。「かぎ針編み」のため、初心者の方でも気兼ねなくご参加いただけます。



講師 野口智子(eccomin/ニットデザイナー/作家)  
日時 11/27(土)、11/28(日) ①11:00-12:30 ②14:00-15:30  
参加費 1500円+入館料 定員 各回4名  
申込 10月27日(水)12:00から電話(03-3665-0251)にて受付

### 小さなフラワーボックス

さくらんぼやぶどうなどの丸いモチーフや作品の構図をイメージしながら、小さな箱のなかにドライフラワーやプリザーブドフラワーを詰めて、両手に収まる小さなフラワーボックスを作ります。



画像はイメージです

講師 MYS 今泉冴也香  
(フラワーアーティスト)  
日時 10/16(土) ①11:00-12:30 ②14:00-15:30  
参加費 3000円+入館料 定員 各回6名  
持ち物 はさみ(花用またはクラフト用)、持ち帰り用の袋  
申込 9月16日(木)12:00から電話(03-3665-0251)にて受付



Musée  
Hamaguchi  
Yozo  
Yamasa  
Collection

## ミュージゼ 浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7  
Tel\_03-3665-0251 Fax\_03-3665-0257  
Mail\_musee@yamasa.com HP\_https://www.yamasa.com/musee/  
アクセス\_東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば  
東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分  
首都高速箱崎IC[浜町出口]または[清洲橋出口]T-CAT駐車場前

